

その他の木材・木製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	11～ 12	長さ4mぐらいの木材を、2人で持った時に、片方の者が指を滑らせて木材を放してしまい、運悪く下に鉄のローラーがあり、指がローラーと木材に挟まれて怪我をしてしまった。	41	522	7	1～ 9
2017	1	11～ 12	昇降盤にて木材のミゾを作る作業中に左手指3本を負傷する。	23	131	8	1～ 9
2017	1	9～ 10	自社工場内においてボール盤にて木作業中、左手で木屑を払おうとしたところ、機械の刃に手袋が巻き込まれ、左第2指、第3指を負傷した。	65	139	7	1～ 9
2017	1	10～ 11	マルチカットソーで404材のカット作業を開始した際、機材が光電管の不具合と思われる事象で機械が止まった。作業者はマルチカットソーの裏にある光電管が原因と判断し、その光電管2ヶ所を両手人差し指でセンサー前にかざした所、自動運転が起動し、テーブルが上昇した。同時に左手人差し指も挟まれたまま搬送盤に持ち上げられ、機材が動き出し指を切断した。	54	131	7	10 ～ 29
2017	1	13～ 14	本社工場内にて薄板を重ねて耳を切りそろえる作業中、誤って右手が刃にふれてしまい、右手、示指と中指を受傷した。	62	139	8	30 ～ 49
2017	1	10～ 11	工場1階でパネルソーを使用し、Φ20の丸棒を15mmにカットしていた際、破材を取ろうとして、手を入れてしまった。その時に刃が出	45	131	7	1～ 9

			てきて、左手4本（母子・示指・中指・環指）を損傷した。				
2017	1	15～ 16	工場の1階において、昇降盤を使って木の加工中に1.5cm角の木切れが飛んできて、左目に当たり負傷した。	76	131	4	—
2017	1	10～ 11	当社の第3工場内に於いて、スクラップをトラックに運ぶ作業をする際に、シュレッダーのロストルをリフトに3枚載せ、トラックの場所まで動かす途中で、ロストルの1枚（厚み8cm、横32cm、縦204cm、約100kg）が崩れ落ち、リフトから降りてそれをリフトに戻そうと持ち上げたときに、誤ってふらつき右足を捻って負傷した。	43	417	19	30 ～ 49
2017	1	11～ 12	梱包作業中に、左肘をねじるような感じで痛めた。	52	522	19	10 ～ 29
2017	1	16～ 17	工場内において、モルダー機を使用して木材を加工している際、ローラー部稼働中のままローラー部にたまった木材端材（ゴミ）の除去作業をしている時に、左手をローラー部に挟み負傷した。	61	139	7	1～ 9
2017	1	17～ 18	工場プレス機に材料（板）を入れていたとき、焦り過ぎていたため確認を怠り、右手を挟んでしまった。	48	139	7	1～ 9
2017	1	9～ 10	短尺縦継ぎ棟でムラ取り選別中に、ラミナの欠点除去作業をしている時、木端が詰まり除去しようとして刃物に右手が接触してしまい、卓上丸鋸の安全カバーが固着していて降りきらない状態で、且つ、丸鋸が停止する前に手を入れてしまった為、右手親指及び人差し指を創傷した。	29	131	8	50 ～ 99
2017	2	8～9	梱包作業のため、当社事務所から作業場所へ徒歩で移動していたところ、草地の下り坂で足を滑らせてしまい、転倒した際に左足に乗ってしまっただけのため負傷した。	27	417	2	10 ～ 29
2017	2	8～9	当社工場内の木箱置場にて柱が障害になり、2段積（3,500mm×600×600）の透箱をリフト荷役に都合の良い位置（約50cm）まで	65	921	19	1～ 9

			移動するため、引っ張り出したところ腰を痛めた。				
2017	2	11~12	作業所内で内装工事用の木材を手押しカンナ盤で削っている時に、回転している刃に指が触れてしまい右手人差し指の先端を切傷した。	65	133	8	1~ 9
2017	2	8~9	芯材組立工程の木芯材投入口で、芯材を入替作業時、通常フォークリフトが待機してから芯材を動かすが、フォークリフトが待機場所に入る前に芯材を動かし、投入台から落ちそうになった為、手で押さえようとしたところ、芯材が崩れそうになり、体を避けたが、逃げ切れず、右足の上に芯材が崩れ骨折してしまった。	38	522	5	50 ~ 99
2017	2	11~12	工場に於いて、チェーンソーで、松杭木（長さ1.5m、直径14cm）の先付け作業中にチェーンソーがキックバックし、左手がハンドルから離れてしまい、チェーンソーの刃が左手に接触し負傷した。	38	136	8	30 ~ 49
2017	2	10~11	材料のパーティクルボード（約15kg）を台車に移し替えを行っていた。両手で材料の間に手を離し忘れ材料の間に手を挟んだ。右手中指の先端を骨折した。	54	522	7	50 ~ 99
2017	2	11~12	箸の原形生産をするデバイダーのオペレーターをしていた。（キャタピラコンベアは動いている。）キャタピラの台にセットしたコア（材料）がキャタピラの端に乗り上げ、それを直そうと右手を伸ばしたところ手袋が引っ掛かり押さえ板とコアに挟まれた。	53	139	7	10 ~ 29
2017	2	14~15	本社事務所内にて同僚の机で仕事の打ち合わせをしていたところ、会社の電話に着信があったため自分の席に戻り電話を取ろうと小走りで席に戻っている際に履いていたスリッパが滑って体の左側から転倒し床面にて左大腿骨を強打し、骨折したものである。	53	417	2	10 ~ 29
2017	3	8~9	他社工場内で荷積み作業を終えてトラックの荷台から降りていたところ、50cm程の高さから地面に飛び降りたとき、誤って踵から着地してしまい左足踵を負傷した。	58	221	3	30 ~ 49
			終業時間になったので材木製品を片づけようとして、両手で抱え運				

2017	3	17~18	んでいたところ、つまずき転倒した。前方に加工台があり、加工台に乗るような形で倒れこんだため、材木、加工工具、台に手がはさまるような形になり負傷した。	38	417	2	1~ 9
2017	3	13~14	倉庫内で出荷する木材の取り出し中、ラック上に積まれた木材の上段部分を取り出したときに、その下にあった木材が崩れて落下し、左足首に当たり受傷した。	47	522	4	50 ~ 99
2017	3	11~12	木材切断用機械（昇降盤）で木材加工をしている時、木材の切れ端を不注意にも手で取り除こうとして、手袋がノコギリの歯にあたり、そのまま巻き込まれ負傷した。	66	131	7	1~ 9
2017	3	9~10	当社工場にて、プレスラインの糊付機の整備・清掃作業をしていた。機械正面右側に立ち、糊付機上部のゴム製のローラー（200Φ）右端面に付着した固形物（糊）を取り除くためローラーを回転させながら（不安全な状態）右手に持った金属へらをローラー右端面に押し当て削り始めた。削り込みが弱いので、さらにへらを強く押し当てるため、左手をへらに添えようと動かしたところ、ローラー部に左手環小指を巻き込まれ、皮膚がはがれ負傷した。	62	163	7	10 ~ 29
2017	3	15~16	山林で五切作業をしているとき、チェーンソーで切った残りの材が、自分の方に押されてきて、左ひざに当たり、押し倒されて左ひざ内側のじん帯を損傷した。	65	522	6	1~ 9
2017	3	9~10	自社加工作業場内で木材加工中、カバーに手を掛けてしまい、右手の指が回転中の刃に接触してしまい負傷した。	27	133	8	1~ 9
2017	3	17~18	当社内木くず処理作業場において、油圧ショベル（ユンボ）による作業を終え、ユンボから降りる際にステップに足が引っ掛かり転倒し、1m程下に転落した。両膝を強打した際、特に右膝を側溝の角にぶつけてしまい、右膝蓋骨骨折を負った。	33	142	1	1~ 9
2017	3	14~15	当社工場にて、ボール盤で木板に穴を空けている作業中、すべて左手中指を切傷した。	27	134	8	10 ~ 29

2017	3	11~12	同社工場内原料外ヤード置場において、搬入業者が持ち込んだダンプ車両から廃棄物である生木の荷卸し作業中、当該車両がダンプアップした際、生木が転がり、誘導のため後方にいた被災者側に転がり落ち、生木が被災者の左鎖骨部分にあたり負傷した。	58	221	4	1~9
2017	3	11~12	工場内において、横型の特殊プレス機で木製品のエッチ貼り作業を行っている際に、材料をセットし押さえている状態の時に誤ってプレスのスイッチを足の一部で押してしまったため、両手の指先をはさみ負傷した。	39	139	7	30~49
2017	3	9~10	木製パネルに電動ドリルで穴を空ける作業中、パネル側面から穴を開けようとしたが、節に当たったので、慌てて停止レバーを戻してドリルをパネルから抜こうとした。その際、ドリルの回転が止まっていない状態で抜いたため、ドリル本体が揺れたので落とさないようグリップをつかみ、右手薬指をドリルにぶつけて負傷した。	57	139	7	50~99
2017	3	8~9	常にチェーンや鋸などの機械に近づく時は、電源を止めるように指導しているが、工場内でツインリッパーを使おうと、電源を入れたまま、チェーンに引っ掛かったチップ材を取ろうとして、手袋を挟まれて負傷した。	34	132	7	10~29
2017	4	14~15	工場内で、機械で木材を切る作業をしていたところ、床に落ちた端材を左手で拾い持ち上げる際にクロスカットソーを作動させるボタンに触れ、手前にスライドしてきたノコ刃で左手の甲を切傷した。 (作業台下のボタンの配置、形状に問題があった。)	35	131	8	30~49
2017	4	15~16	工場内で、くぎ打ち機を使って木材加工品のパレットを作成していたところ、誤ってくぎ（長さ45ミリ）が、右手人差し指に貫通した。	74	139	8	1~9
2017	4	13~14	現場にてクレーンで荷おろし作業後、吊りバンドを回収するため入った際に敷地のくぼみに気づかず足をくじき転倒した。	38	417	2	50~99

2017	4	13～ 14	製材挽き場にて、高さ3メートル位の所にある挽き粉を吸いあげるファンのベルト交換を行った時、梯子を使用した。作業終了後、梯子でバランスを崩し2メートル位の高さから飛んで着地し、右脚踵に衝撃を受けた。	58	371	1	1～ 9
2017	4	14～ 15	当社工場内でクロスカットソーの点検・修理中、機械を停止させずに上司に故障箇所の説明をしていたところ、ベルトに触れてしまい指を巻き込まれ、右手人差し指の先端がねじ切れた。	22	121	7	30 ～ 49
2017	4	11～ 12	山林現場で間伐作業を行っていたとき、切捨下部より頂上へと登りながら作業を進め、中間付近で作業していたところ、胸高10cm程度のスギを伐倒する際に伐倒木の下部に足場を位置取り伐倒してしまった為、伐倒木の根元が足の方へと落ちてきて右足首に当たった。	75	712	6	1～ 9
2017	4	17～ 18	ウッド工場内の回転プレスロールコーター設備機械の清掃作業中、セレクトスイッチを停止せずに作業を進めていた為シャフトに右手袋（右手）が巻き込まれ右腕手首から肘までの骨を骨折した。	22	139	7	50 ～ 99
2017	5	14～ 15	工場内で手押しカンナ盤で木取りをしている時に、木材の上のせていた右手が滑り、下にある刃物に右手小指が巻き込まれた。	25	133	8	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	高さ1.6mの台に載っているC75×145×3.2の鉄骨材料の上に乗り結束されている材料の結束バンドを取り外していたところ、作業が終わり降りようとした時、ギックリ腰が痛くなりバランスが崩れ飛び降りてしまい、地面にかか時から落ちた。	47	611	19	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	木工所で江、ラミナ材を手押しカンナにかけている時に、カンナの刃に手袋をした右手親指が触り、親指の先を切創した。	54	379	8	1～ 9
2017	5	16～ 17	工場内において、ベニア切断作業をし終わり、周りに散らかった破片を片付けるため歩いている時、ベニアの破片に躓き転倒した。	68	417	2	1～ 9
2017	5	16～	工場内にて横切機を使用中、丸鋸刃に左手人差し指が接触し、縦に	52	131	8	1～

		17	切傷した。				9
2017	5	2～3	工場で傾斜盤にて板を縦方向に切る作業をしている時に、切り終わったところでローラー部にエアコンプレッサーをかける際、空いた左手でローラーに手を添えようとしたが、刃の回転が完全に止まっておらず、左手薬指が触れて切れた。	40	131	8	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	木質チップをトラックに積み込む作業をしていた際、積み込む作業が終わって二人で掃除していたところ、天井（高さ6m）にあるチップの排出口からチップの塊（30cm四方）が落下し、箒で掃除をしていた被災者の背中に直撃した。	33	522	6	30 ～ 49
2017	5	11～ 12	工場1課3階の縁貼機2号縁貼ライン操作盤で段取り替え作業後、歩行を開始した際、設備に敷いてある5mmの鉄板に躓き転倒した。その際、縁貼機点検窓に手を打ちつけ、ガラスが割れ、手首を切傷した。	48	418	2	50 ～ 99
2017	5	11～ 12	昇降盤で木取中に安全カバーを外していた為、木が引っ掛かった時、木と一緒に手が引き戻されて手が刃物に当たった。	43	131	8	30 ～ 49
2017	6	14～ 15	工場内より外にチップを運ぶベルトコンベア下の掃除を、トビを持って行っていたところ、掃除のために回っていたベルトにトビの先が引っ掛かり、引っ張られて何かに接触した。その際、右腕と右の甲を負傷した。	69	224	3	1～ 9
2017	6	17～ 18	工場内で仕事が終わりに、帰る途中に踏み台があり（H25cm×L90cm×W50cm）、誤って足を踏み外して転倒し、受傷した。	66	417	2	1～ 9
2017	6	16～ 17	ユニットハウス積込作業中、梯子に登り、1m位の所で体のバランスを崩し、両足にて着地した際、両足かかとを骨折した。	75	371	1	10 ～ 29
2017	6	14～ 15	社内作業内で、材木（1800×90×15）を手押しプレナーにて加工中に手が滑り、左手示指を切断した。安全カバーが破損し、取り外し	64	133	8	1～ 9

			ていた為に事故が発生した。				
2017	6	2～3	天板加工で、手押し作業をする時に安全を怠った為、左手の薬指の先を引っかけて切創した。	69	133	8	1～ 9
2017	6	16～ 17	工場内で作業中、反転機に右腕を挟み負傷した。	29	169	7	1～ 9
2017	6	11～ 12	工場で、完成品が載った台車をトラック出荷エレベーターへ運ぶ際に、2人で運ばなければならない運搬を1人で運搬している作業者を 見つけ、その台車がエレベーターにぶつかりそうになったので止め に走り、力を込めて踏み込み、台車を止める際に「ぶちっ」という 音と共に肉離れになってしまった。	41	362	19	30 ～ 49
2017	6	9～ 10	4tトラックにて配送先で荷物を引き取り後、配送先の駐車場でト ラック荷台の側面に乗り、トラックシートの具合を引っ張って直そ うとした。その際、シートを引いた手が滑り、そのはずみで体が荷 台から地面に落下した。荷物の整理積載の手間を惜しんだことによ り、足場の少ない荷台側面で無理して作業を行ったことが事故の主 要因と考える。	63	221	1	10 ～ 29
2017	6	9～ 10	カウンターレーンと客席の間の通路で検品、納品を行っていた。折 り畳みコンテナから食材を出し、両手に物を持って移動しようとし たところ、コンテナに足が当たって体のバランスを崩し、転倒して しまった。手がふさがっていたため体左側を強打し、左大腿骨骨折 した。	27	522	6	10 ～ 29
2017	6	14～ 15	家具建具の在庫を置いている障子パレットの一番奥の障子を引き出 すため、障子パレット上に乗り、前に積み重ねられている障子をず らそうとして一歩後に下がったところ、思った所にパレットがな く、そのまま約30cm程の高さから、コンクリート床に転倒した。着 手した際に右足首を捻り、右第5中足骨骨折となった。	54	379	2	10 ～ 29
2017	6	13～	負傷した作業員は、何を思ったのかわざわざベルトコンベアの下に 行き、右手を入れてみた、停止後、自分でコンベアより右手を引き	41	121	7	1～

		14	抜き、ベルトに巻き込まれていたため、右手首より先を負傷した。					9
2017	6	9~10	建具工場内で、ガラス入りドアのガラス受け（押さえ）部材を製作するため、加工済みの部材（長さ2m、幅36mm、厚み15mm）を縦割りするため、予め作っておいた治具（長さ1m、幅36mm、厚み20mm）を昇降盤に貼り付けて、その上に2mの加工材を左手で押さえつけ、右手で押し込み、縦に割る作業をし、残り140mm位のところで、右手を押さえ棒に替えるため、右手を離れた時、左手で押さえていた部材が、突然跳ね上がったので、咄嗟に左手で押さえた際、昇降盤の刃（1.3mm）に接触し負傷したものである。	21	131		8	50~99
2017	6	15~16	パレット製作工場内にて、パレットを製作中、板の隙間を調整するため、スクレーパーを隙間に立てて板を寄せながら釘を打ち込んでいた。使用していたスクレーパーが小さく、手で支えながら釘打機を使用していた。その際に釘打機が滑り、掌に向けて釘が発射した。	30	169		8	10~29
2017	6	9~10	当工場内でプレーナー（カンナ機）仕上げ作業中、材料が上刃の安全カバーを押し上げたため、カバーを定位置に戻そうとして、回転している刃物に左手の薬指が触れて負傷した。機械トラブルの時は必ずスイッチを切ってから作業するべきところを怠ったため、災害が発生した。	52	133		8	10~29
2017	7	14~15	工場内で材料の切断作業をしている時、卓上電動ノコに材料がくい込まれてしまい、左手の甲部分も少し巻き込まれて負傷してしまった。	44	131		8	1~9
2017	7	14~15	本社工場にて作業するため釘鉄砲を準備する際、鉄砲のトリガーを引いたまま脚に鉄砲を当ててしまった。その際、誤発射してしまい、釘が脚に刺さり、右脚を負傷した。	18	139		4	50~99
2017	7	16~17	工場作業場で研磨作業中ディスクグラインダーが研磨中の木のすき間に入り込み回転の勢いでディスクグラインダーが制御不能になり	49	139		8	1~9

			手首を切る。				
2017	7	10~11	柱の積んであるところからチップにする柱（約15cm角×3m）を取ろうとした所真中あたりの木が崩れて右くるぶしの上に落ちて損傷した。	60	522	5	1~9
2017	7	8~9	寮内の清掃業務等を続けていたところ両肩に熱をもって腫れて寝られない状況が出てきた。五十肩と診断され動かすように言われたが、痛みがひどくなった。MRI診断を受け（両肩腱板断裂と診断）以後、休業している。	38	611	7	50~99
2017	7	16~17	会社の資材置場で整理整頓をしている時に、足元を踏み外して、シャッターの箱の角で肋骨付近を打った。	25	391	3	10~29
2017	7	15~16	工場内にて、約2m程先の場所へ材木（コンパネW1200H2400重さ約20kg1枚）を移動させるため持ち上げた際、手が滑り、50cm程上から左足親指の上にコンパネが落下した。	19	522	4	10~29
2017	7	13~14	当社作業場で折箱に使用する合板作業機械を取り扱い中、こぼれた糊を拭き取る作業中、右手がローラーに挟まれて、負傷した。	50	139	7	30~49
2017	7	14~15	工場内で電動ノコギリでメラミン板を切っている際に、木くずを払おうとして左母指を切ってしまった。	70	131	8	1~9
2017	7	15~16	工場内において、プレカット（開口）加工中、製品を荷台に降ろした後、体を伸ばした際に腰に痛みを感じた。	38	611	19	1~9
2017	7	9~10	ペレット燃料を貯蔵タンク（約3m）に補充する作業中、トラックからクレーンでペレット燃料を吊り上げ、位置調整のためクレーンのクラブに縛り付けたロープを引き寄せたとき、ロープが切れて、バランスを崩してタンクから転落し、被災した。	54	418	1	10~29
2017	7	13~14	工場にてピッキング作業中、暑い中での作業だったため息が苦しくなり、休憩室で休んでいたところ、過呼吸・足の痺れ・顔面の麻痺	57	715	11	10~

			の症状が出て、救急車で搬送された。				29
2017	7	16～ 17	支店倉庫内にて、金槌を使用して木製パレット解体作業中、右手に持った金槌を誤って手から滑らせ、右足小指に落とし受傷した。	36	364	4	1～ 9
2017	7	14～ 15	工場にて木材を運んで地面に置く際に、木材の下端に取付してある金物で左足親指の先を挟み負傷した。	21	522	7	50 ～ 99
2017	7	12～ 13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ1m）し、右足の甲を負傷した。	39	522	4	100 ～ 299
2017	7	14～ 15	縫製作業中、作業場の床で、床のトゲが刺さり負傷した。その日は大丈夫だと思い病院には行かず、その後も就労したが、次第に腫れ上り、痛みも強くなってきた。	66	522	90	1～ 9
2017	7	9～ 10	資材工場で先取り作業中、台車が後方へ戻るときに、台車のヘッドブロックが本人の左手甲に当たり負傷した。	77	132	6	1～ 9
2017	7	11～ 12	本社工場内にて、パネルの角を横切り機械で欠く作業をしていた際、切断時にパネルを持っていた手が刃物に触れ、左手薬指と小指を負傷した。	43	131	8	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	本社製材工場の土場で、被災労働者は、フォークリフトで製材を運搬する作業をしていた、フォークリフトのフォークの載せていたパレットの上に上がり作業し、パレットから地面に下りようとした時、誤って右足で地面にあった石を踏んで、右足首を負傷した。	34	523	3	10 ～ 29
2017	9	16～ 17	当社木工部に於いて、昇降盤にて端材ベニヤを切断中、ベニヤが丸のこにつまりキックバック（反発）し、被災者の腹部に激突し、負傷した。パネルソー（ベニヤ切断機）で切断していれば、キックバックする事はなかった。	56	131	4	10 ～ 29
			事業場内の木材製品置場で仕入製品の開梱作業中、結束している鉄				30

2017	9	15～ 16	バンドをバールで切っている時、鉄バンド及び太い鉄バンドの結束が滅多に無い為、扱いに慣れておらず、切れた鉄バンドが弾け飛び左腕に当たり切れて出血した。	42	364	8	～ 49
2017	9	13～ 14	製材機械に木材が引っかかり、それを解除しようとして、機械のスイッチをオフにしたが完全に機械が止まる前に手を出してしまい、回転していたローラーと木材の間に左手中指を挟んでしまった。	58	139	7	～ 29
2017	9	9～ 10	1尺と6尺フローア-基材の塗装ラインで段取り替え中に、基材の表面研磨をするドラムサンダーのペーパーを交換し清掃をしようとし、サンダーの停止ボタンを押し停止させた。ペーパーを外しエア-ガンで清掃する為に、今度は起動ボタンを押してペーパーが無いままドラムを回転させた。30cm位ノズルの付いたエア-ガンでドラムのゴミを飛ばそうとドラムに近づけた時に、回転していたドラムにエア-ガンの先端が接触しそのまま右手にエア-ガンを持ったまま、ドラムと押さえロールの間に巻き込まれた。	46	139	7	30 ～ 49
2017	9	9～ 10	当社工場内で、木枠を自動くぎ打ち機で45ミリの釘を打ち付ける作業中、途中、機械の整備のため油を注入し、その後作業を開始し、釘打ちした瞬間に手が滑り右足の膝より上の部分に当て釘を打ってしまい、負傷した。	65	139	8	10 ～ 29
2017	9	16～ 17	工務店作業場に於いて、2m×105×105の木材加工中に、手がすべり回転する刃に左人差し指中指を接触し負傷する。	31	133	8	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	4tトラックに資材を積み込む作業中に、積み込んだ資材をワイヤーで荷締め作業を行っている際、ワイヤーに足を取られ地面に転落し負傷した。	66	221	1	1～ 9
2017	10	15～ 16	昇降壁での木材加工（切断）作業中、まだ刃が動いている状態で、右手が軍手ごと昇降盤のフィーダーと壁との隙間約10cmに巻き込まれ、小指以外の四指を切断してしまった。	48	131	7	10 ～ 29
			当社作業場（工場）において、両面テープをカッターで手前に向				

2017	10	15～ 16	かって切断しているとき、力が入っていたため、手が滑り、カッターが手から抜けてしまった。勢いよく手から抜けたカッターの刃が腹部にあたり、切り傷を負った。	17	364	8	1～ 9
2017	10	9～ 10	パレット修理の工場第二事業所内で、パレットの積おろし積み上げ機付補修ラインにて、PPCパレットの修理中に、パレットがライン上で詰まり、上に持ち上げて取り外そうとしたところ、背中に痛みが走った。	51	611	19	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	工場内で、ギャングソーで、木製位牌を作成するため切断加工していた際、残りの木材が鋸刃に触れ引っかかり、反発して戻り、よけきれず、右手甲にあたりを負傷した。	65	139	4	1～ 9
2017	10	16～ 17	当店作業場にて電動ノコギリで竹材のカットを行っている最中、竹を押さえていた手を滑らせ、まわっているノコギリに指が触れた。	27	139	8	1～ 9
2017	10	12～ 13	当社工場内において昼休憩の間に喫煙場に向かっていたところ、床に落ちていたクギに気付かず踏んでしまい右足踵を負傷する。	21	521	9	30 ～ 49
2017	10	9～ 10	梱包作業場でダンボールをカッターナイフで切断作業中、はずみで定規よりはみ出し、左親指の爪部分を切傷した。	20	379	8	1～ 9
2017	11	10～ 11	工場内において、イワシ箱の棧を自動棧打機を使って取り付していたところ棧が下りてこないの確認するため、スイッチを切ってすぐ手を入れたところ、機械がまだ完全に止まっていなかったので左人差し指が挟まれ負傷した。	47	169	7	1～ 9
2017	11	17～ 18	自社作業場において高さ70cmの作業台の上で、ドアの修復中、ボンドを塗ったベニヤ板を足で踏みつけていたところ、端からバランスを崩して落ちて、右足の踵を強く床に打ちつけて、打撲したものである。	66	371	1	1～ 9
2017	11	10～	チップ製造作業中、ダストコンベアの異物受けの缶の交換作業をする際に、コンベア内側のテールローラ付近にチップが入っているの	44	224	7	10 ～

2017	11	10～ 11	工場内のパレット製造機にて自動運転での作業中、不注意により可動部に手を差し出し、右手親指と人差し指を挟まれ負傷した。	46	169	7	～ 29
2017	11	9～ 10	化粧パネルの加工作業に従事中、帯板（15mm×446mm×1800mm、重さ約3kg）を、パネルソーにて製品サイズ（15mm×446mm×661mm）に、カットし、そのカットした製品を作業台の上（高さ約700mm）に置き、体を起こした際に、腰部に強い痛みを覚えた。整形外科にて受診したところ、腰部挫傷と診断された。	32	921	19	～ 49
2017	11	10～ 11	工場において、家具の製造作業中、木材を加工するため昇降盤で切断していたところ、昇降盤の刃が木材を噛み跳ね返った木片が左手に当たり負傷した。	74	139	4	1～ 9
2017	11	15～ 16	第一工場から部材を軽トラックに乗せ第二工場に移動中、部材を乗せていたトラックの荷台の後方に乗り込んで座っていた際、持っていたアオリ施錠が外れ65cm下に後ろ向きに尻から落下し、全身を打ったものである。	36	221	1	10 ～ 29
2017	11	8～9	自社工場で丸鋸使用中に鋸の刃に触れ、右手指先中三本を負傷した。	34	131	8	1～ 9
2017	11	10～ 11	トラック右側のアオリと荷台の隙間にチェーンが挟まって（引っ掛かって）いたので、右手で取ろうとした際、正面（手前）のアオリを体で支えていたので、チェーンを抜いた時にはずみで、アオリが手前に倒れ、アオリの下に置いていた左手が荷台との間に挟まれ被災した。	49	221	7	30 ～ 49
2017	11	13～ 14	同社工場内において、被災者は、モーター付丸ノコ台で、木材を加工中、誤って右手人差し指と中指の先が、丸ノコの刃に触れ、怪我をした。	38	169	8	1～ 9
2017	11	14～ 15	蒲鉾板の選別をする作業をしていて、蒲鉾板の結束をする為、作業台の反対側に回ろうとした際、躓き両手をついて転倒した。右手首に重心が加わり、負傷したものである。痛みが引かないので、後日	50	416	2	10 ～ 29

			病院で受診した。				
2017	12	8~9	当社製材工場の前で、朝礼に参加する際、凍結した地面に足を滑らせて転倒した。	46	719	2	50 ~ 99
2017	12	11~12	他社工場内で事務所に向かって歩いていたとき、段差でつまずいて転倒し咄嗟に両手をついた際、左肩を負傷した。	54	417	2	30 ~ 49
2017	12	11~12	倉庫において、格子部材を製作中、角棒にかき込みを付ける作業で、角ノミによる加工後に取りきれない部分をガイド付ストレートで取り付けたトリマーで取ろうとした。グローブをしたままで作業をした不安全行動の為に、トリマーの刃にグローブが巻き込まれ、左手にケガをした。又、この場合はトリマーを使用するのではなく、ノミでの手加工が選択されるべきであった。	24	131	7	10 ~ 29
2017	12	11~12	本社工場内に於いて丸棒の先端を細くする作業中に発生した。作業はΦ22×600の木製丸棒を鉛筆削りと同じ原理で先端を細くする作業で、具体的には丸棒を両手で掴み先端を回転刃物に押し入れテーパ状にする物である。事故の様子は、先ず作業中に回転刃物内で丸棒が割れ、その為に掴んでいた丸棒が引き抜けず、装着していたゴム手袋が手と丸棒に密着して丸棒を放すことができず、その事で手が強い回転トルクを受け右手小指・薬指が損傷に至った。	37	139	7	10 ~ 29
2017	12	15~16	工場内にて、機械の年末の大掃除をしているときに、鋸の奥にあった木クズを取り除こうと右手を深く差し入れたところ、停止スイッチは入れてあったが、鋸が完全に停止しておらず、右前腕に触れて、切ってしまった。	29	131	8	30 ~ 49
2017	12	9~10	ラミネート機械のPURヘッドとロールの間に左手を入れて、ラッピングシートの調整をしているとき、ロールが回転して上昇し、高温(120度)のPURヘッドとロールの間に左手指が挟まれた。非常停止で止まったが、解除に5秒程度かかり、火傷がひどくなった。	36	163	7	100 ~ 299

2017	12	15~16	工場内において、ギャングリッパーの前取り作業中、前取り機のローラーを動かしているチェーンとスプロケットの間に木片が挟まったので取り除こうとして、チェーンとスプロケットの間に右手の薬指と小指を挟まれ負傷した。	69	121	7	10 ~ 29
2017	12	10~11	更衣室に向かう入口の段差に躓き、転んだ先にあったドアに左側面からぶつかり強打し、左腕を骨折した。	68	418	2	50 ~ 99
2017	12	10~11	木材加工工場内で、リップソーという機械で平板（約1000mm×20mm×100~150mm前後）を小割りする作業中に、板を割る途中で止まってしまった。機械を止めずに板を引き抜こうとしたところ、板が抜けてキックバックし、右腹下部を負傷した。	72	131	6	10 ~ 29
2017	12	9~10	スプリッター（大径材割機）にて、直径約30cmのクヌギ材を割る作業中、材が割りきれなかったため、トビを使って材を引き寄せたところ、誤って自身の左足甲部に落ちてしまい、親指を骨折した。	19	139	6	10 ~ 29
2017	12	11~12	工場で、仕事の後片づけをしているとき、作業場とトイレの間に置いている固定板（450×2000×30mm）を渡っているときに転んでしまい、地面に右手をついて負傷した。	68	417	2	1~ 9
2017	12	11~12	自社営業所の工場内において、鋸くずの製造を行っていた。大型鋸くず機械の作動中に、機械に近寄って清掃作業をしてしまったため、ベルトコンベアーを動かすローラーとゴムキャタピラとの間に、右手先部分から肘の手前部分まで挟まれ、数分間挟まれたまま手の甲の部分が摩擦されてしまった状態である。	52	139	7	1~ 9
2017	12	14~15	本社工場内にて横切り作業中、製品の寸法カット後、余った製品を2m先の仮位置に移動中に、他の置いてあった材料に誤って足を引っかけて転倒し、右足脛と踵を負傷し、そのまま入院となった。	44	522	2	10 ~ 29
			木材加工設備の搬入ラインで、ベルトコンベアを交換するため、付帯設備（安全カバー含む）を取り外して交換作業を行った。その				30

2017	12	22~23	後、調整の動作確認を行う際、本来取り付けるべき安全カバーを外した状態で稼働させたため、不注意で右手をチェーンに巻き込まれ、指を負傷した。	34	121	7	~ 49
------	----	-------	--	----	-----	---	---------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html